

東日本大震災 発災 14 年目を迎えるにあたっての

防災復興支援センター長メッセージ

東北地方は、2025 年 3 月 11 日に、東北地方太平洋沖地震の発生から 14 年目を迎えました。この地震とその後の津波、被災生活の中で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2024 年から 2025 年にかけての 1 年も、能登半島地震にはじまり、各地での大雨・台風、南海トラフ地震臨時情報の発表等、多くの痛ましい災害が発生しました。

ここ岩手県においても、大雨や台風、また直近では山林火災による被害で、沢山の住民の不便な状況が続いています。一方で、全国各地の皆様からの温かいご支援をいただき、そのような状況から一日も早く日常生活への帰還が叶いますよう対応が続いているところでもあります。被災された方々の安全と健康が守られ、生活が一日も早く整いますことをお祈り申し上げますとともに、全国各地からご支援の手を差し伸べていただいた皆様に最大限の感謝をし、岩手県立大学としても被災地の皆様のお役に立てるよう取り組んでいく所存です。

岩手県立大学防災復興支援センターは、まもなく設立 2 周年を迎えようとしております。災害時に一人でも多くの命を守ることができるよう、次の災害に備えるための取組を推進してまいります。

今後とも、当センターと岩手県立大学へのご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

2025 年 3 月 11 日

岩手県立大学 防災復興支援センター
センター長・教授・博士（情報科学） 亀田 昌志